

本別町国民健康保険病院新改革プラン（第2期）の実績について

○令和3年度における数値目標の実績について

・医療の提供に係る数値目標

	H30実績	R1実績	R2実績	R3		R4目標	R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標	下段：実績				
平均入院患者数 (人/日)	42.3	46.5	44.7	45.0	38.9	45.0	45.0	45.0	45.0
				75.0					
病床利用率 (%)	70.6	77.4	74.5	64.8	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
				157.0					
平均外来患者数 (人/日)	171.3	163.1	142.6	117.5	157.0	158.0	159.0	160.0	160.0
				50					
紹介患者数 (人)	45	40	18	22	50	50	50	50	50
				30					
逆紹介患者数 (人)	9	51	38	35	50	50	50	50	50

※ 令和3年度平均入院患者数のうち地域包括ケア病床利用者 6.0人/日  
(分析)

入院、外来とも患者数の目標を下回ったが、令和2年度から3年度中の常勤医の退職の影響が大きいと考えている。常勤医の退職の際は出来る限り他の常勤医に引き継ぐよう調整しているが、これまで1日に複数科受診していたものが1科受診となるため患者数の減になっている。

紹介、逆紹介患者数は、コロナウイルスの影響で移動制限を行う医療機関が多かったことの影響もあり、紹介患者数は目標を大きく下回り、逆紹介患者数は目標に達したが前年度をわずかに下回った。

・経営指標に係る数値目標

入院及び外来診療単価

(単位：円)

	H30実績	R1実績	R2実績	R3		R4目標	R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標	下段：実績				
1人あたり 入院診療単価	23,272	22,759	23,072	24,617	25,001	25,200	25,200	25,200	25,200
				8,263					
1人あたり 外来診療単価	7,505	7,777	8,353	9,285	8,335	8,335	8,335	8,335	8,335

(分析)

入院、外来とも目標値を達成することができた。入院では令和3年1月から稼働した地域包括ケア病床が、外来では全体の患者数の減少により相対的に人

工透析の構成割合が上がったことの影響が大きいですが、リハビリ専門職の増員によるサービス提供数の増の効果もあるものと考えている。

経常収支比率及び医業収支比率

(単位：%)

	H30実績	R1実績	R2実績	R3		R4目標	R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標	下段：実績				
経常収支比率	90.0	109.6	94.3	95.0	98.7	99.5	100.2	99.8	
				100.7					
医業収支比率	74.6	89.5	77.1	77.3	82.3	83.3	84.0	83.6	
				79.6					

(分析)

経常収支比率、医業収支比率とも目標値を超えているが、入院外来収益の減を一般会計繰入金が増で補填したためであり、収益の改善が課題であることは変わらない。ただし、医業収益でコロナウイルスワクチンの接種業務による委託料収入が多かったことも影響している。

職員給与比率及び材料費対医業収益比率

(単位：%)

	H30実績	R1実績	R2実績	R3		R4目標	R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標	下段：実績				
職員給与比率	87.3	72.7	88.1	85.6	79.3	80.1	80.0	80.8	
				85.8					
材料費対 医業収益比率	15.1	13.1	14.3	15.0	14.8	14.8	14.8	14.8	
				13.0					

(分析)

職員給与費は金額では前年度の4.1%の減となっているが、常勤医退職による減が大きい。一方でその影響による診療収益の減のため職員給与比率はわずかながら目標値を上回った。

材料費は患者数の減や薬の在庫調整により購入額が減少したため、目標値を下回ることができた。

一般会計繰入金

(単位：千円)

	H30実績	R1実績	R2実績	R3		R4目標	R5目標	R6目標	R7目標
				上段：目標	下段：実績				
収益的収支 一般会計繰入	361,598	588,373	420,110	367,399	456,693	368,000	368,000	368,000	368,000
資本的収支 一般会計繰入	69,389	60,970	102,303	55,054	56,754	55,758	54,003	53,142	54,313

(分析)

収益的収支に係る繰入は、収益の減を補填するため年度末において資金不足とならない程度に増額補正を行い、合計で約4億6千万円の繰入で目標値を約9千万円上回った。

資本的収支に係る繰入は、機器の故障による更新で年度内に補正をしたため、目標値を約170万円上回った。